



あなたのいちばんに。  
ふくおかフィナンシャルグループ

# 地域密着型金融の取組み状況について (平成20年度)

地域密着型金融の推進に関する基本方針 (ふくおかフィナンシャルグループ)	P.1
I ライフサイクルに応じた取引先企業の 支援の一層の強化	P.2~3
II 事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した資金供給手法の徹底	P.4
III 地域の情報集積を活用した持続可能な 地域経済への貢献	P.5~6

平成21年5月



熊本ファミリー銀行

- ふくおかフィナンシャルグループ（以下、FFG）はすべてのステークホルダーに対して、真に価値ある存在であり続け、地域社会とともに成長していくことを使命としております。また、九州を基盤とした「地域密着型金融」の実現により国内トップクラスの「広域展開型地域金融グループ」を目指します。
- このFFGの基本精神はグループ傘下銀行の中期経営計画の基本方針および経営戦略の礎となっており、各銀行における中期経営計画の実現こそが、「地域密着型金融」の実現に繋がっていくものと考えます。
- FFGでは、「地域密着型金融の推進」の3つの柱である①「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」、②「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」、③「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」を軸に、各銀行がそれぞれの中期経営計画に基づき、その特性、地域性を活かした取組みを実践することで地域社会に貢献してまいります。

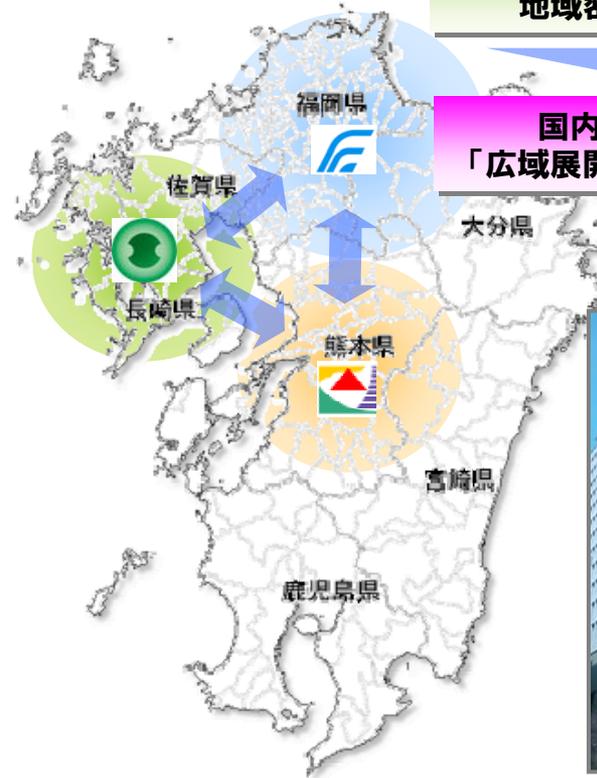
## FFG 第二次中期経営計画の基本方針

- FFGカルチャーの創造
- 統合シナジー効果の早期実現と最大化
- グループ一体経営体制の確立

福岡銀行	目指す銀行像	基本方針
	<b>期待を超える銀行</b>	<b>知と行動の総力展開</b>
熊本ファミリィ銀行	目指す銀行像	基本方針
	<b>地域になくはない銀行</b>	<b>攻めの経営・規律ある経営</b>
親和銀行	目指す銀行像	基本方針
	<b>地域と共に発展・成長する銀行</b>	<b>変革と進化</b>

九州を基盤とした  
地域密着型金融の実現

国内トップクラスの  
「広域展開型地域金融グループ」



FFG本社ビル  
(平成20年6月オープン)



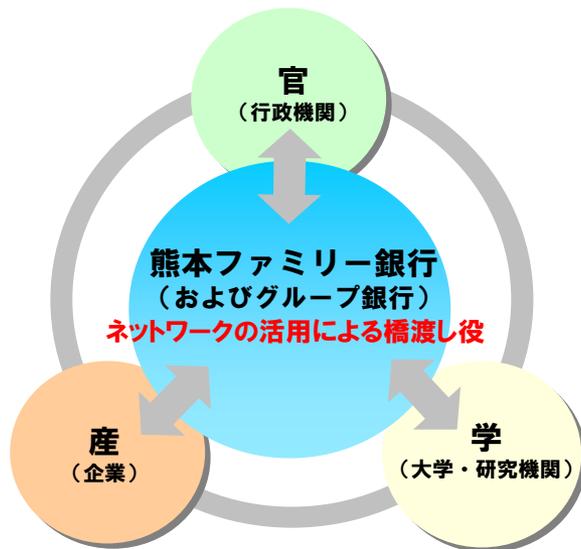
## 創業・新事業支援機能の強化

- 地域活性化のため、地域経済の基盤となる産業育成を目的とした創業・新事業支援は必要不可欠なものと考えております。
- 当行では、信用保証協会の制度融資等の融資商品を活用することで、お取引先の創業・新事業の支援をしております。
- また、地方公共団体、大学、企業との連携を一層強化することで、FFGグループのネットワークを拡充し、新たに発掘したベンチャー企業に対する資金支援や、創業間もない企業への研究開発・技術支援、販路拡大のための取引先紹介など、地域の産業育成に貢献できるよう努めております。

【ご参考】平成20年度の創業・新事業支援融資実績 70件／435百万円

### 当行の産学官連携のイメージ

大学・企業・行政機関の間に立ち、効果的に企業、産業育成を図る



#### ＞産(企業)に対する強み

当行およびグループ銀行が有す、福岡・熊本・長崎を中心とした幅広い業種の豊富な法人顧客

#### ＞学(大学・研究機関)に対する強み

長年にわたる財務面での取引実績と、技術力促進や知的財産の活用等に向けた連携強化による地元有力大学との幅広いネットワーク

#### ＞官(行政機関)に対する強み

財務面を中心とした従来からの行政取引ノウハウや行政関連など産業連携支援機関との強いパイプ

産学官の橋渡し役を担うことが可能

#### ＜当行の連携協定締結先＞

締結時期	締結先
H17.7	熊本大学
H18.1	崇城大学
H18.9	東海大学

## 👉 事業再生に向けた取組み（会社分割の実施）

- 当行は、これまでF F Gのコアバンクである福岡銀行の事業再生・不良債権問題解決ノウハウ、および各種アドバイザー業務を活用しつつ、お取引先企業の事業再生支援に積極的に取組んでまいりました。
- 平成21年2月には、現下の厳しい環境下においても事業再生支援が滞ることがないように、当行および親和銀行が有する事業再生事業および不良債権関連事業を「会社分割」により福岡銀行に承継することで、F F Gとしての事業再生事業等にかかる体制強化を図りました。
- F F Gの事業再生事業等にかかる組織・人材・ノウハウを福岡銀行に結集し、情報の一元化と単一組織による意思決定の迅速化、および福岡銀行の持つ先端金融手法やソリューション機能等の質の高い再生支援メニューを迅速かつ的確に提供できる体制を構築しました。
- なお、当行は事業再生事業等にかかる負担が軽減されることから、より前向きなリスクテイクが可能な体制となり、地域における円滑な金融機能をより一層発揮することで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

### 会社分割の概要

グループ銀行の事業再生関連部門を  
福岡銀行に **会社分割** により結集



### 【効果1】事業再生・不良債権問題解決の完遂

- F F G内の組織・人材・ノウハウを結集させ、情報の一元化と意思決定の迅速化を図ることで、『事業再生支援の加速化』と『充実した再生メニューの徹底活用』が可能に

### 【効果2】地域金融システムの安定

- 事業の集約により積極的なリスクテイクを行い、地域特性を活かした中小企業金融の円滑化を促進し、地域経済の活性化に貢献

### 【効果3】グループ経営資源の戦略的活用

- 事業再生支援に精通した専門人材をグループ内で集中育成するとともに、業務の効率化により、営業部門への人的リソースの再配置を実施

【参考】平成20年度の経営改善支援等の取組み実績 ※21年2月会社分割により福岡銀行へ承継した先を含む

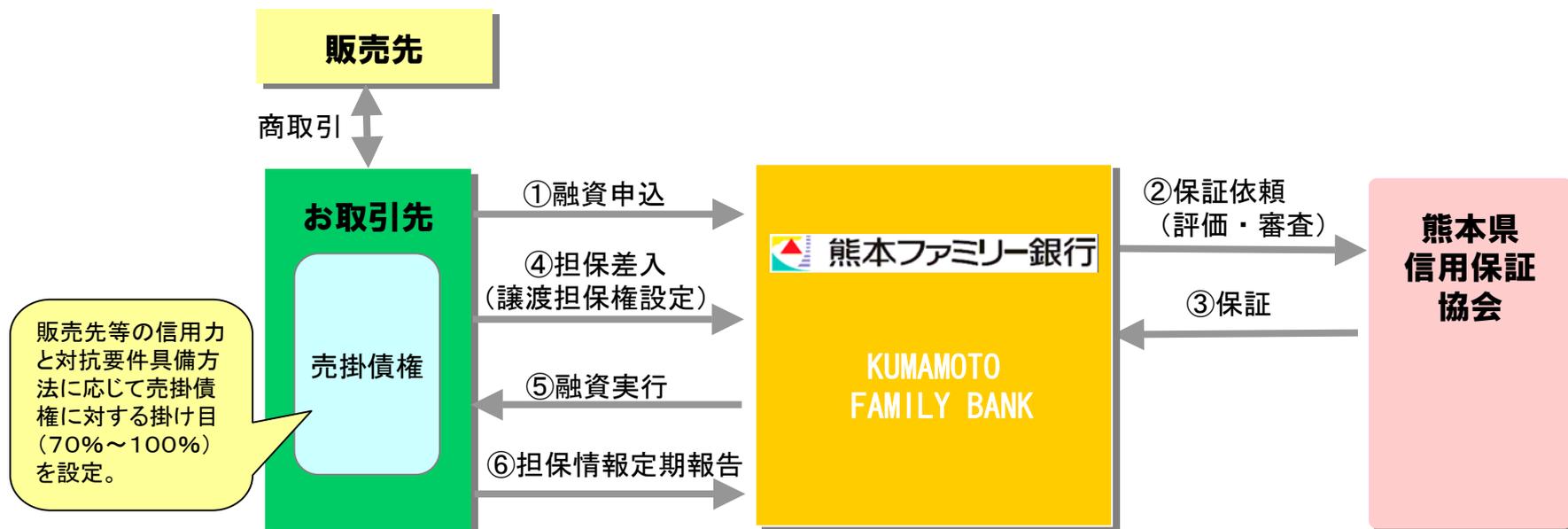
期初債務者数 (正常先除く) A	Aのうち経営改善 支援取組み先 α	αのうち期末に債務者 区分がランクアップした先 β	αのうち再生計画 を策定した先 δ	経営改善支援 取組み率 α/A	ランクアップ率 β/α	再生計画策定率 δ/α
2,729先	71先	33先	31先	2.60%	46.48%	43.66%

### 📌 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資手法の拡充（ABLの取組み）

- 不動産担保・個人保証に過度に依存せず、お取引先の事業価値を見極めて融資を行うことは、地域密着型金融の推進につながるものと考えます。
- 中でも、ABL（アセット・ベスト・レンディング：流動資産担保融資）保証制度は、お取引先が所有する売掛債権（売掛金・工事請負代金等）を有効に活用できるとともに、銀行とお取引先とが売掛債権の状況や業績に関する情報を共有する等、お取引先とのリレーションをより一層強化できる手法であることから、当行はABLの活用に積極的に取り組んでまいります。

【ご参考】平成20年度の動産・債権譲渡担保融資の実績（融資実行ベース） 101件／484百万円

#### ABL保証制度のスキーム （流動資産担保融資保証制度）



## 広域営業ネットワーク網を活用したビジネスマッチング情報等の提供

- 事業性貸出にとどまらない情報集積の活用は、地域経済の活性化を図るうえで必要であり、お取引先にとって有益な情報を提供していくことは、地域金融機関の重要な役割のひとつであると考えます。
- お取引先に対して営業情報の提供が可能となる「商談会・ビジネスマッチング」や、経営・その他の情報提供が可能となる「各種セミナー等」の開催は、当行として重要な業務と位置づけております。
- グループ銀行である福岡銀行は平成20年8月に「(株)FFGビジネスコンサルティング」を設立し、当行、福岡銀行、親和銀行の3行がそれぞれ行っていた「ビジネスマッチング」「法人会員組織運営」業務等を統合することで、より効率的かつ効果的に、お取引先に対してFFGグループの広域・多様なネットワークを活用した情報提供が可能になりました。

### 平成20年度の各事業開催実績

#### ① ビジネス交流会の開催

※3行：福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行

開催日	交流会名	場所	参加社数	来場者数	開催銀行
平成20年4月22日	長崎ビジネス交流会	ホテルニュー長崎	120社	3,500人	3行

#### ② ビジネス交流会 講演会・セミナーの開催

開催日	講演会名	講師・テーマ	延参加者数	開催銀行
平成20年4月21日	長崎ビジネス交流会 基調講演	「日本経済・復活の条件と今後の中小企業経営」 千葉商科大学大学院 教授 齋藤 精一郎 氏	91名	3行
平成20年4月22日	アジア進出支援セミナー	「海外(アジア)市場に向けた食品輸出の課題について」 アジアネット代表 田中 豊 氏	84名	3行
平成20年4月22日	観光セミナー	「エリアプロモーション戦略と他エリアの成功事例」 元(株)リクルート関東・関西・東海じゃらん編集長 鳥居 聡 氏 「着地型観光の展望とJTBの取り組み」 (株)ジェイ・ティー・ビー事業創造本部 事業開発室 マネージャー 野添 幸太 氏 「外国人観光客誘客の動向」 (株)ファイネックス 代表取締役 桑原 信彦 氏	100名	3行

#### ③ 個別商談会の開催

セミナー種別	開催時期	参加バイヤー数	参加社数	場所	開催銀行
食品事業者向け個別商談会	11/27	8社・14名	48社	福岡銀行 本店ビル6階	3行

#### ④ 経営セミナー・実務講座の開催

セミナー種別	開催時期	開催回数	延参加人数	開催地区	開催銀行
新入社員研修会	3/27~4/4	21回開催	928名	福岡・北九州・久留米 佐世保・長崎・熊本	3行
食品マネージメントセミナー	7/2~7/11	6回開催	100名	福岡・北九州・久留米 佐世保・佐賀・唐津	3行
実践・実戦型！ マーケティングセミナー	9/18~9/26	4回開催	210名	福岡・佐世保・長崎 熊本	3行
営業力強化・購買強化セミナー	9/18・19	2回開催	40名	福岡・佐賀	3行
中小企業基盤整備機構共催 事業承継セミナー	11/21~12/4	6回開催	87名	福岡・北九州・久留米 佐世保・長崎・熊本	3行
営業マンのための！ 実戦的営業力強化セミナー	1/22・1/23 3/2・3/3	4回開催	274名	福岡・佐世保・長崎 熊本	3行
食の安全・安心対策セミナー	2/6	1回開催	24名	熊本	当行
広告担当者のための！ 実戦的販促物作成セミナー	2/17~2/20	4回開催	288名	福岡・佐世保・長崎 熊本	3行
九州経済白書説明会 ※九州経済調査会共催	3/3・3/11・ 3/24	3回開催	470名	福岡・北九州・佐世保	3行

#### ⑤ その他特別イベント

セミナー種別	開催時期	参加者数	場所	開催銀行
医業経営ビジネス交流会	1/24	147名	福岡山の上ホテル	3行

## 地域活性化のための各種施策・連携強化（環境問題への取組み）

- 当行は、クールビズ・ウォームビズをはじめとした省資源・省エネルギーの取組みや地域の環境保全活動への参加等、様々な環境への取組みを行なっています。
- とりわけ平成17年9月に「ISO14001」の認証を取得し、認証取得から3年目の昨年は、環境問題への取組みを継続すべく認証の更新を行いました。
- 今後とも、地球環境への配慮を行い、環境面からの地域貢献を継続してまいります。

### 環境問題への取組み

#### 環境方針の制定

##### 熊本ファミリー銀行環境方針

熊本ファミリー銀行は、すべてのステークホルダーに対し、「いちばん身近な、いちばん頼れる、いちばん先を行く」銀行であることを目指しております。豊かな自然環境に恵まれた熊本県を主たる経営地盤とする当行は、環境問題への取組みを企業の社会的責任の大きな柱として位置付け、この面からも、「いちばん身近な、いちばん頼れる、いちばん先を行く」銀行であるべく、継続的に環境問題に取り組んでまいります。

1. 環境保全に関連する法規制を遵守するほか、当行が賛同するその他の要求事項についても積極的に対応します。
2. 環境保全のための目的・目標を設定し、必要な見直しを行いながらその達成を目指すなど、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
3. 省資源・省エネルギーへの取組み、グリーン購入などの環境配慮型商品の購入等、環境保全に配慮した活動の実践により、環境への負荷低減と汚染の予防に努めます。
4. 環境保全に資する金融商品・サービス・情報の提供等、本業を通じた環境活動の側面からも地域貢献に取り組んでまいります。
5. 本方針を全役職員に周知徹底し、一人ひとりが環境問題について考え、行動するようにします。

この環境方針を内外に公表します。

平成19年9月18日  
株式会社 熊本ファミリー銀行  
取締役頭取 鈴木 元

#### 取組み内容

- 環境マネジメントシステムの運用
- 本業による環境保全活動の推進（エコ関連預金、貸出、投資信託、情報サービス等）
- 省資源、省エネルギーの取組み
- 環境に配慮した物品の購入
- 地域の環境保全活動への参加

#### 清掃活動



#### クールビズ



#### ISO14001認証

- ◆ ISO14001とは環境マネジメントに関する国際規格
- ◆ 環境活動をどのように進めるべきかを規格化した国際規格であり、「環境ISO」とも呼ばれています

#### エコ関連商品

- フィデリティスリーベーシックファンド(投資信託)
- 住宅ローン金利優遇(エコプラン)
- エコ・アクション・ポイントの付与(住宅ローン)

